

足羽三山周辺のアザミウマ類 補遺1

柴田 智広*

Thrips around Asuwa three mountains Additional records 1

Tomohiro SHIBATA*

(要旨) 著者は2012年から2016年の調査後、2019年に足羽三山に生息するアザミウマを継続調査した。本報では調査の結果新たに記録された7種のアザミウマを報告する。

キーワード：足羽三山, アザミウマ

1. はじめに

アザミウマ類は体長0.8~7mm程度の昆虫で、花・葉・茎・根などの植物組織上、森林などの堆葉層、枯葉・枯枝など枯死した植物上などに棲息する。現在日本に4科410種以上が知られているが(塘, 2011)、これまで福井県では3種が知られているのみであった(岸本・佐々治, 1998)。著者は現在までに福井県産のアザミウマ41種(未同定3種含む)を報告した(柴田, 2015; 2016a, b; 2017a, b)。このうち足羽三山からは30種のアザミウマを報告したが(柴田, 2017a)、調査した季節の偏りや調査の回数などの観点から不十分である。

足羽山、八幡山、兎越山(以下足羽三山)は福井市の南西部に位置する孤立丘陵で、市街地に囲まれているが自然環境は比較的良好に保たれている。また、足羽三山周辺には草地・落葉広葉樹林・常緑広葉樹林など多様な自然環境が見られる。このため当地域のアザミウマ相は福井県嶺北地方の低地から低山地のアザミウマ相をある程度代表しうる。本報では2012年から2016年の調査後(柴田, 2017a)、2019年に行った継続調査によって足羽三山周辺から新たに記録された7種のアザミウマを報告する。

2. 方法

調査は2019年4月13・21・28日、5月2・4・6・11日、7月15・28日、8月3・4・11・12・17日に計14回行った。八幡山における調査は豊小学校側登山口から月見広場・東側登山口(楠児童館付近)から月見広場・月見広場からおさごえ民家園の各ルート上で行った。兎越山における調査はおさごえ民家園からかんぼの宿を

経て出雲大社までのルートで行った。これらのルートに加え、カルチャーパーク、西谷中央公園、コモンライフ花堂公園、測町から西谷までの狐川川岸、八幡山西側斜面を調査した。山中の調査ルート上にはクマガザサ群落(図1)、トウチク類の群落(図2)、クローバーやヒメジョオンなどの生育する草地(図3)、ススキ類の群落(図4)、シイ・カシ類の優占する常緑広葉樹林、コナラの優占する落葉広葉樹林(図5)などの植生環境が見られた。また、山の周辺にある公園には植栽植物が見られ、狐川の川岸にはヨシヤススキなどのイネ科植物の群落が見られた(図6)。調査は上記のルート及び地域を歩きながらアザミウマの生息環境を見つけて行った。

採集は主にビーティング法で行った(受け具は枯れ枝には大型の布を、草や花には小型のプラスチックトレイを用いた)。植栽された植物からは絵筆を用いて植物体から直接採集した。得られたアザミウマは管瓶に入れて持ち帰った。

採集した日のうちに管瓶に二酸化炭素を注入してアザミウマを麻痺させ、実体顕微鏡下で体色を観察すると同時に体色の記録を残すため写真を撮影した(特にアザミウマ亜目において同定の際に体色の情報は不可欠であるため)。その後、永久プレパラート標本作製し光学顕微鏡を用いて同定した。標本作製方法は基本的にOkajima (2006)に従った(永久プレパラート標本用の封入剤は、カナダバルサムとソフトマウント和光Rをアザミウマの大きさによって使い分けた)。

同定は、クダアザミウマ科はOkajima (2006)、シマアザミウマ科はMasumoto & Okajima (2019)、アザミウマ科は工藤・芳賀(1988)、Kudo (1991; 1992a, b, c)、Masumoto (2009)に従った。標本は著者が保管している。

*福井市自然史博物館友の会 〒918-8006 福井市足羽上町147

*連絡先: idolothripinae@gmail.com

*Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan.



図1. 兎越山クマザサ群落



図5. 兎越山落葉広葉樹林



図2. 八幡山トウチク群落



図6. 狐川ヨシ群落



図3. 八幡山月見広場



図7. キムネシマアザミウマ雌



図4. 八幡山ススキ群落



図8. *Neohydatothrips ponyaunpe*



図9. コスモアザミウマ雌



図10. *Yoshinothrips pasekamui*



図11. *Megalothrips cruvidens*雄



図12. *Ophthalmothrips miscanthicola*



図13. クスクダアザミウマ

3. 結果

今回の調査を通して足羽三山周辺からクダアザミウマ科2亜科3種, シマアザミウマ科1種, アザミウマ科2亜科3種の計7種が新たに記録された。その内5種は福井県初記録であった。福井県初記録の種については採集地・採集場所とともに分布情報を示す。種名は基本的に学名で示し和名のあるものには和名を付した。分布情報及び和名については榎本(2016)を参考にした。

Aeolothripidae シマアザミウマ科

キムネシマアザミウマ

Aeolothrips luteolus Kurosawa

八幡山：1♀, 28. IV. 2019. (図7)

分布：本州

トウチク類の葉上から得られた。足羽三山周辺から初めて記録されたシマアザミウマ科となる。福井県初記録。

Thripidae アザミウマ科

Sericothripinae セリコアザミウマ亜科

Neohydatothrips ponyaunpe (Kudo)

カルチャーパーク：3exs., 11. VIII. 2019. (図8)

分布：北海道・本州

植栽されたコブシの葉上から得られた。福井県初記録。

Thripinae アザミウマ亜科

コスモスアザミウマ

Microcephalothrips abdominalis (Crawford)

カルチャーパーク：3♀, 11. VIII. 2019. (図9)

コモンライフ花堂公園：1♀, 11. VIII. 2019.

分布：北海道・本州・九州・沖縄(沖縄本島)・宮古(宮古島)・八重山(石垣島・西表島)；台湾・中国・東南アジア・インド・ミクロネシア・ハワイ・オーストラリア・北米・南米

カルチャーパーク, コモンライフ花堂公園ともにマリーゴールドから得られた。福井県初記録。晩夏から秋にかけて個体数が増加するようである。

Yoshinothrips pasekamui Kudo

八幡山：1♀, 4. VIII. 2019. (図10)

分布：北海道・本州

八幡山東側登山口(楠児童館付近)に生えたエノキの葉上から得られた。福井県初記録。

Phlaeothripidae クダアザミウマ科

Idolothripinae オオアザミウマ亜科

Megalothrips cruvidens Okajima

八幡山：1♂, 4♀, 3. VIII. 2019. (図11)

八幡山豊小学校側登山道脇の葉の付いていない枯れ枝から得られた。雄の腹部にある1対の角状突起が特徴である。嶺北では初記録。足羽三山では個体数は多くないようである。

Ophthalmothrips miscanthicola (Haga)

八幡山：3exs., 4. VIII. 2019. (図12)

八幡山西側斜面のススキ群落で得られた。

Phlaeothripinae クダアザミウマ亜科

クスクダアザミウマ

Liothrips floridensis (Watson)

カルチャーパーク：5exs., 11. VIII. 2019.

湖団地：3exs., 12. VIII. 2019. (図13)

分布：本州・伊豆（八丈島）・小笠原（父島・母島）・
四国・九州；台湾・スリランカ・北米

植栽されているクスの葉上から得られた。福井県初
記録。個体数は多い。

4. 終わりに

今回の調査で足羽三山周辺から新たに7種のアザミ
ウマが記録された。前回の調査と合わせると、シマア
ザミウマ科1種、クダアザミウマ科2亜科23種、アザ
ミウマ科2亜科13種の計37種が足羽三山周辺から記録
されたことになる。皇居（東京都）で計74種（岡島、
2000）、フォレストパークあだたら（福島県）で計62
種（塘・吉澤、2008；2010）の例と比較するとまだ記
録種数は少ない。アザミウマは微小なため発見しにく
く、調査では特に食菌性のクダアザミウマにおいて採
集の再現性が低かったことを考慮すると、足羽三山に
おいても調査を継続すれば記録種数は増加すると思わ
れる。

以下本調査において新たに記録された種について補
足する。①キムネシマアザミウマは足羽三山周辺から
初めて記録されたシマアザミウマ科である。狐川のヨ
シ群落調査では福井県内各地で採集されている（柴田、
未発表）同科のクロサワシマアザミウマ *Aeolothrips*
kurosawai の棲息を予想したが今回は得られなかつ
た。②コスモアザミウマ、*Megalothrips cruvidens*、
Ophthalmothrips miscanthicola、*Yoshinothrips pasekamui*
は前回同じ場所の調査時に得られなかった種である。
今回の調査は夏季（7、8月）がメインであったため、
これらの種の個体数が増加する活動期にあたり採集
しやすくなっていたと考えられる。③ *Neohydatothrips*
ponyaunpe とクスクダアザミウマは今回初めてこれら
の寄主植物を調査したことで得られている。

最後に足羽三山周辺で現在までに堆葉層から得られ
たアザミウマ亜科1種、半枯れのモウソウチクから得
られたアザミウマ亜科1種、枯れ枝から得られたクダ
アザミウマ亜科2種の計4種が未同定で残されている。
今後もこれら未同定の種の検討を含め調査を継続する
予定である。

謝 辞

本稿の執筆・投稿にあたり福井市自然史博物館の梅
村信哉氏はじめ、学芸員諸氏に様々なアドバイスをい
ただいた。この場を借りて感謝申し上げる。

引用文献

- 岸本修・佐々治寛之, 1998, アザミウマ目
THYSANOPTERA, 福井県自然環境保全研究会昆虫部
会編, 福井県昆虫目録第2版, 福井県, p63.
- 工藤巖・芳賀和夫, 1988, 分類, 梅谷献二・工藤巖・宮崎
昌久編, 農作物のアザミウマ, 全国農村教育協会, 95-
107.
- Kudo, I., 1991, Sericothripine Thrips of Japan
(Thysanoptera, Thripidae). *Jpn. J. Ent.*, **59**(3), 59-538.
- Kudo, I., 1992a, Panchaetothripinae in Japan
(Thysanoptera, Thripidae). *Jpn. J. Ent.*, **60**(1), 109-125.
- Kudo, I., 1992b, Panchaetothripinae in Japan
(Thysanoptera, Thripidae). *Jpn. J. Ent.*, **60**(2), 271-289.
- Kudo, I., 1992c, Panchaetothripinae in Japan
(Thysanoptera, Thripidae). *Jpn. J. Ent.*, **60**(3), 467-482.
- Masumoto, M., 2009, Taxonomic study of Japanese
Thripinae (Thysanoptera, Thripidae), with
consideration of supra-genetic relationships based
on morphological characters, Doctoral thesis, Tokyo
University of Agriculture, 671p.
- 榎本雅美, 2016, Order THYSANOPTERA 総翅目 (アザ
ミウマ目). 日本昆虫目録編集委員会編, 日本昆虫目録
第4巻準新翅類, 権歌書房, 44-85.
- Masumoto, M. & Okajima, S., 2019, Review of the
Aeolothripidae (Thysanoptera) in Japan., *Zootaxa*, **4564**
(2), 301-326.
- 岡島秀治, 2000, 皇居で採集されたアザミウマ類. 国立科
博専報, (36).
- Okajima, S., 2006, The Insect of Japan Vol.2, The Suborder
Tubulifera. Touka Shobo, 720p.
- 柴田智広, 2015, 福井県産オオアザミウマ亜科の分布記録.
福井市自然史博物館研究報告, (62), 81-82.
- 柴田智広, 2016a, 福井県産土壌性アザミウマの分布記録.
福井市自然史博物館研究報告, (63), 85-86.
- 柴田智広, 2016b, 福井県産Hoplothrips属3種の記録. 福井
市自然史博物館研究報告, (63), 87-88.
- 柴田智広, 2017a, 足羽三山周辺のアザミウマ. 福井市
自然史博物館研究報告, (64), 63-68.
- 柴田智広, 2017b, ヨツコブトゲクダアザミウマのササ類
からの採集記録. 福井市自然史博物館研究報告, (64),
93-94.
- 塘忠顕・吉澤領. 2008, 福島県民の森「フォレストパーク
あだたら」のアザミウマ相. 福島大学プロジェクト研究
[自然と人間] 研究報告, (7), 23-38.
- 塘忠顕・吉澤領, 2010, 福島県民の森「フォレストパーク
あだたら」のアザミウマ相 (補遺). 福島大学プロジェ
クト研究 [自然と人間] 研究報告, (8), 18-24.
- 塘忠顕, 2011, 農作物のアザミウマの見分け方<総説>.
アザミウマ類の見分け方, 日本植物防疫協会, 1-5.

Abstract

Seven thrips species collected around Asuwa three
mountains in 2019 were newly listed.

Key words

Asuwa three mountains, thrips